

事業所名

YMCAきぼう

支援プログラム

作成日

2025年

2月

25日

法人（事業所）理念		子どもたちが自分の希望が叶えられるよう支援をし、周りから暖かいサポートを受けながら就労し、休みのも生き生きと暮らしていけるようになることが「YMCAきぼう」の願いです		
支援方針		放課後や長期休業中の時間を使って、子どもたちの希望が叶えられ、子どもたちの未来がより豊かな生活になるための支援を行います 自己存在感・共感的理解・自己決定を大切に、その子のよいところを伸ばし、自分自身が認められる居場所作りや活動を通して仲間とのコミュニケーション方法や、生活自立に向けたライフスキルも学びます		
営業時間		放課後 休業日	13時30分 9時30分	17時30分 15時00分
		送迎実施の有無		あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	【生活習慣や生活リズムの形成】入室時の手洗いの習慣化 排泄の自立への支援 食への興味・関心を育むためのおやつ作りや調理活動 着替え・衣服の調整・身支度・荷物整理・荷物の管理 【基本的生活スキルの獲得】おやつ購入、外食などを通しての金種理解、金銭管理、公共施設でのマナー・ルール理解・将来の自立に向けての生活スキル		
	運動・感覚	【姿勢と運動・動作の基本的技能の向上】放課後の西公園でのサッカー・マラソン等の運動、室内での体を使った活動、長期休暇のプールやサイクリング等を通しての運動能力の向上 工作や道具を使用した手先を使う活動で微細運動の発達を促す 野外炊飯などで普段使わない道具の使い方や役割を知る 【身体の移動能力の向上】公共交通機関の利用・公共施設の利用の活動を取り入れ、将来の移動の範囲を広げる		
	認知・行動	【対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得】特性に応じて、全体指示、個別指示、また、音声の指示、視覚（文字、絵カード、写真）での指示等を使い分ける スケジュール確認や遊びの切り替えでの時間の概念の習得 外出活動等を通して集団の意識を育む 花見、川遊び、雪遊び等の自然体験を行い季節感の変化を感じ、空間の感覚や時間の流れを知る		
	言語 コミュニケーション	【コミュニケーションの基礎的能力の向上】言語のみではなく、絵カードや身振り等を使ったコミュニケーション 【人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得】分からないことや困ったことを伝えたり、質問をする 挨拶・敬語の使い方などのコミュニケーションの方法の習得 【状況に応じたコミュニケーション】相手や状況に応じた伝え方、場面に適した声のボリュームの習得		
	人間関係 社会性	【信頼関係の形成と安定】 【情緒の安定】自分自身が認められる居場所作り 本人の気持ちに共感的に寄り添い、相談相手となる 【自己の理解と行動の調整】クールダウンの方法の獲得 【人間関係の形成】 【仲間づくりと集団への参加】数人での遊びや小集団でのルールのある設定遊び 大人とルールを確認し、仲間同士の遊びにつなげていく		
家族支援	年2回（10月・3月）親子イベントの開催 不定期での施設見学会 預かりニーズに応じた延長支援	移行支援	YMCAみらいから移行するメンバーの情報共有 必要に応じて就労先へメンバーの情報提供	
地域支援・地域連携	以下YMCAの行事を通しての地域交流	職員の質の向上	ケース会議、内部研修（放課後等デイサービス、法人、仙台YMCAとしての研修）及び外部研修（各種勉強会、全国YMCAでの研修、児童発達支援管理責任者研修、強度行動障害支援者養成研修等）への参加	
主な行事等	6月仙台YMCAバザー、9月仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン、12月仙台YMCAクリスマス・仙台YMCA国際地域協力募金、2月ピンクシャッター			